

機械器具（58）整形用機械器具
一般医療機器 歯科インプラント技工用器材 JMDN コード：70757000

チタンベース AB 技工用器具

【形状・構造等及び原理等】

- (1) 本製品は、P O I EX システム チタンベース AB EX の専用器具である。
- (2) 本製品のラボスクリュー EX (Ti) とプラスチックスリーブ EX は、P O I EX フィクスチャーの上部構造を作製する際、使用する技工用パーツである。
- (3) 本製品のラッピングツールセット EX (Ti) は、プラスチックスリーブ EX を用いて作製された補綴物の鋳造体の適合調整（研磨）を行う際、使用される。
- (4) サイズ等については外装の表示ラベルに記載されている。
- (5) 形状・材質は次の通りである。

製品名	外観	用途	材質
ラボスクリュー EX (Ti)		模型上での補綴物の締結	チタン合金 (表面処理として陽極酸化処理が施されている)
プラスチックスリーブ EX		鋳造型作製用	PMMA (ポリメチルメタクリレート)

※ 製品は、外袋に記載されている品名に対応する 1 種が包装されています。

ラッピングツールセット EX (Ti)			
製品名	外観	用途	材質
ラッピングドライバー EX A (Ti)		アクセスホール研磨用	ステンレス鋼
ラッピングドライバー EX B (Ti)		チタンベース AB との接合面研磨用	
ドライバーガイド EX (Ti)		チタンベース AB との接合面研磨用	
ポリッシングプロテクター EX (Ti)	  鋳造体に取り付けた状態	チタンベース AB との接合面保護用	

※ 製品は、外袋に記載されている品名に対応する 1 種が包装されています。

（原理等）

プラスチックスリーブ EX を模型上でワックスやパターンレジンを用いて加工することにより、チタンベース AB EX に装着するための補綴物を作製する。

ドライバーガイド EX (Ti) は、ラッピングドライバー EX (Ti) と組み合わせて使用する。

ポリッシングプロテクター EX (Ti) を研磨の際に補綴物に装着し、チタンベース AB EX との接合面を保護する。

ラボスクリュー EX (Ti) は、作製された補綴物を模型上に締結する。

ラッピングドライバー EX (Ti) は、作製された補綴物とチタンベース AB EX との接合面を研磨する。

【使用目的又は効果】

本製品は、歯科用インプラントの上部構造を作製するために用いる歯科技工用の器具・材料である。

【使用方法等】

本製品を組み合わせて用いることにより、補綴物鋳造体の作製及び適合調整（研磨）を行う。

（使用方法に関連する使用上の注意）

- (1) 詳しい使用方法については、取扱説明書を参照すること。
- (2) 各器具の使用方法
 - 1) 適切なサイズの本製品を選択する。
 - 2) 印象採得後、アナログ模型にプラスチックスリーブ EX とチタンベース AB EX をラボスクリュー EX (Ti) を用いて設置する。
 - 3) 模型上でワックスやパターンレジンを用いて加工し、それを基に鋳造されることで補綴物を作製する。
 - 4) ラッピングドライバー EX A (Ti) の使用方法（図 1）

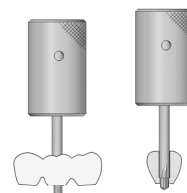


図 1

- 5) ラッピングドライバー EX B (Ti) の使用方法（図 2）

- ① ドライバーガイド EX (Ti) を鋳造体咬合面側よりアクセスホールに挿入する。
- ② 鋳造体より突出したドライバーガイド EX (Ti) のシャフト部とラッピングドライバー EX B (Ti) を組み合わせる。
- ③ 鋳造体より突出したドライバーガイド EX (Ti) のシャフト部を軸にしてラッピングドライバー EX B (Ti) を用手的に右回転させ、チタンベース AB との接合面を研磨調整する。

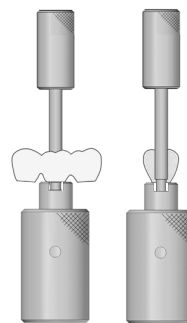


図 2

- 6) ポリッシングプロテクター EX (Ti) の使用方法（図 3）

- ① ラッピングドライバー EX A (Ti)、B (Ti) により研磨調整を終えた鋳造体咬合面にポリッシングプロテクター EX (Ti) を嵌め合わせる。
- ② ラボスクリュー EX (Ti) により固定し、適切な研磨器具を用い鋳造体を研磨する。

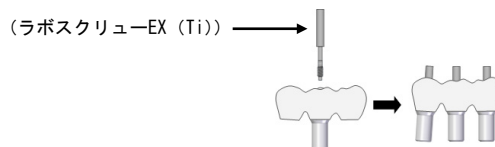


図 3

- (3) 詳しい使用方法については、取扱説明書を参照すること。
- (4) 本器具の使用前後に、破損、曲がり等がないことを確認すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- (5) 洗浄などで汚染が除去できなかったり、損傷したりした技工パーツは使用せず、適切な方法で破棄すること。
- (6) プラスチックスリーブ EX にオートクレーブなどによる高温滅菌は行わないこと。[製品が熱により変形する恐れがある。]
- (7) プラスチックスリーブ EX をチタンベース AB EX に固定する場合は、ラボスクリューEX (Ti) を一度に締め込まず、適合を確認しながら徐々に締め付けるようにすること。この際、過度の締め付けトルクを与えると損傷をきたす事があるため、操作に十分注意すること。
- (8) ラッピングドライバーEX A (Ti)、B (Ti) は、微調整の範囲で使用する。著しい铸肌荒れ、気泡などの铸造欠陥が生じた铸造体は、使用を中止すること。
- (9) ラッピングドライバーEX B (Ti) を過度に使用すると適合不良を招く場合がある。調整面の状態を見ながら少しずつ作業を進めるようにすること。
- (10) ラッピングドライバーEX A (Ti)、B (Ti) の切れ味が低下してきた場合は、新しい製品と取り替えること。
- (11) ポリッシングプロテクターEX (Ti) は、研磨作業により消耗する。嵌合辺縁部に消耗が見られる場合は、新しい製品と取り替えること。
- (12) 研磨作業中にポリッシングプロテクターEX (Ti) を固定しているスクリューがゆるみ、ポリッシングプロテクターEX (Ti) が铸造体から外れる可能性がある。研磨作業においては、必ずスクリューを締め付け、ポリッシングプロテクターEX (Ti) が固定されていることを確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

・保管の条件

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

使用後の保守（ラッピングツールセット EX (Ti)）

- (1) 使用後は刃部に付着した削りカスを取り除くこと。
- (2) 水分、油脂分は拭き取っておくこと。
- (3) 上記(1)(2)には柔らかい布や刷毛を使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

京セラ株式会社

TEL：0120-923725